

こどもデイサービス わこう 皆生通り

4月新聞

〒683-0802 米子市東福原5-12-1

☎ 0859-30-2276

☎ 0859-21-1602

<http://www.wakoukaigo.co.jp>

5月20日(土)は

「大山まきばみるくの里」に行きます♣

お楽しみに！

4月22日(土)「ダンボール遊園地」(夢みなとタワー)

の様子を次号新聞でお伝えします。

✻ ✻ ✻

大山乳業の工場へ見学に行きました。

早めにお昼を食べて車に乗り込み琴浦町まで出発！
はじめにスライドを見ながら牛乳とサブレをいただきました。
そしていよいよ、見学通路から工場を下に見て進みます。
給食で出てくる紙パック牛乳やその他の紙パック
・瓶牛乳…できてる。できてる～。ヨーグルトも次々と。

4月4日(火)



詳しく丁寧に説明してくださり、みんな一生懸命聞いていました。
始めと終わりのあいさつもきちんとできました。
帰りは玄関で、カーウィーと写真を取りましたよ！
今まで以上に
牛乳(鳥取県産)を
身近に感じる事が
できました！！



✻研修報告✻

H29年3月16日、17日の2日間、米子市コンベンションセンターで「相談支援の充実を図るための研修会」が開催され、参加させて頂きました。私自身、相談支援専門員ではありませんが、サービス等利用計画には様々な社会資源を取り入れることや、利用者様の思いに寄り添うことが大切だと痛感しました。御家族様を含めた会議が、活発、円滑、そして楽しく進められる技術も必要ということで、益々、相談支援専門員が重要なポジションになると思いました。この研修会で学んだ事をわこうでも生かしていきたいと思えます。

支援員:木谷文代

H29年3月13日、米子市コンベンションセンターにて、株式会社円グループ代表取締役、寺田悦子さんの「ストレングスモデルと実践活用術」という講演会に参加しました。内容は、主に精神保健福祉の訪問看護に関する事でしたが、その中でも「ストレングスモデル」に注目し、講演を聴かせて頂きました。ストレングスモデルとは、潜在能力や環境など、その人の強みに着目して、尊重し、支援者と協力しながらその人らしさを支えるよう組み立てていくもので、当事者の自信を高めるためには必要であるということでした。この講演を聴き、お子様の成長や変化、才能やできていることに注目し、その長所を伸ばしていけるよう日々のお子様とのコミュニケーションや関わりを大切にしていきたいと思いました。

支援員:真山幸江

裏もあります

わここの紹介ポスターを描いてくれました☺



まずは、白い画用紙に大きく「わここの」と書いたこどもさん。何が出来るんだろう！？と、楽しみに待っていたら…わここの紹介ポスターが完成！併せて鳥取県もアピール！

「きてごしない」

こどもさんの書く、その言葉に、温かみを感じました。さっそく、玄関に貼りました(^)v
こどもデイサービスわここのを、こどもさんも一緒になって盛り上げてくれています！



ビニール袋で
パラシュートを作りました

工作で作ったパラシュート、フワフワと飛んで面白かったです！

1月に子どもさん達が植えたチューリップが咲きました。

1つのプランターにいっぱい植えすぎて大きく育ちませんでした。

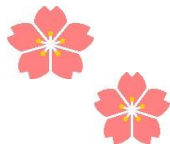
来年はプランターを増やして大きく育てようねとの子どもさんたちの声がありました。



ご入学

ご進級おめでとうございます！

新年度がスタートしました。
今年度も宜しく願い致します。



わここのでは、毎日内容の異なる集団活動を行っています。クイズや、工作、身体を動かすレクリエーションなどその日に来られる子どもさんの好きな事や、目標に沿うような活動の立案、提供を心がけています。少し前に「よいとこみつけ」という活動を行いました。2人ペアになり、お互いの良い所を伝え合うというものです。ペアの相手から良い所を伝えられる事でそれが自分自身にとって新たな気づきとなり認められるという事が、喜びそして、自尊心を育み自己肯定感の向上へと繋がっていくと思います。相手の良い所を見つける活動を通じて、相手を尊重しようとする気持ち(相手を大切にすることを)を育み、お互いがお互いの良さを認め合いながら同じ空間や遊びを共有できるようになっていけたらという思いを抱きながら、行った活動でした。また他の活動も紹介させていただきます。

管理者兼児童発達支援管理責任者 廣瀬晃子

お疲れ様でした！！



2月27日から8週間、
長期臨床実習でお世話になりました。
島根リハビリテーション学院
作業療法学科4年、吉本あいです。

今回の実習では、子ども1人ひとりについて理解し、日常生活や学校でどんなことに困っており、必要な力をつけるためには どのような関わりや工夫をすれば良いかを学ぶことができました。子どもと向き合うだけでなく保護者様や学校、関連事業所、地域との連携で情報を共有することもその子への理解を深めるために大切なことだと学びました。子ども達との関わりでは、独自の発想で新しい遊びが生まれたり、工作をしたり、私では思いつかないことを、積極的に、一生懸命取り組む姿に感動し、多くの事を学びました。一緒にどら焼きを作ったり、駄菓子屋さんに行ったり、子どもたちとたくさんの経験をさせて頂きました。スタッフの方々の協力で、とても充実した時間を過ごすことができました。今回の実習で学んだことを、これからの実習や将来の仕事で生かせるよう頑張ります。ありがとうございました。

新学期が始まり、まだまだお子様もご家族様も 多少の緊張感を感じながらの毎日ではないでしょうか？
ご意見、ご要望等ございましたら、どんな些細なことでも構いませんので、お知らせくださいませ。

2017/4/20

こどもデイサービス

わここの

皆生通り

